

令和3年3月12日（金）

東日本建築教育研究会
関係各位

資格取得推進委員会

2級施工管理検定（第1次検定）の試験内容の周知のお願い

施工管理技術検定試験について

本委員会が主体となり施工管理技術検定、学科試験の生涯有効の要望をしてきましたが、「建設業法の改正」がされ令和3年度から新試験制度になります。

令和3年度からの「第一次検定」では、従来の実地試験で求めていた能力問題の一部が追加されます。

具体的には、**施工管理法(監理技術者補佐としての基礎的能力)が新たに追加**されます。

また、**従来の学科試験**で出題されていた**施工管理法(一般的な知識)の一部が第二次検定の試験範囲**になります。

新試験内容（1次検定試験の合格者は生涯有効で「技士補」の称号を得られます）

検定科目	検定基準	知識・技能の別	回答形式別
建築学等	1, 建築一式の施行の管理を適格に行うために必要な建築学、土木工学、電気工学、電気通信工学及び機械工学に関する概略の知識を有すること。 2, 建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な設計図書を正確に読みとるための知識を有すること。	知識	四肢一択
施工管理法	1, 建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する基礎的な知識を有すること。	知識	四肢一択
	2, 建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な基礎的な能力を有すること。	能力	四肢二択
法規	建築工事の施工の管理を適確に行うために必要な法令に関する概略の知識を有すること。	知識	四肢一択

施工管理法の**能力問題の四肢二択**は**正答の確率では1/6**になります。
従いまして、**より実践的な内容の理解が求められる**と思われます。